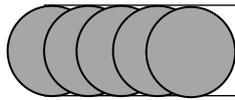


第2回京都文学レジデンシー/Kyoto Writers Residency 02

2023.09.30-10.22



いつも京都文学レジデンシーを応援くださりありがとうございます。
本年度の参加者・各種イベントについてご案内いたします。

✉ :kyotowritersresidency@gmail.com / 🌐 :kyotowriters.org

オープニング・フォーラム

2023年10月1日(日)
15:00-17:00 (14:30 開場)

@香老舗 松栄堂 薫習館
[京都市中京区烏丸通二条上ル東側]

*参加無料・要事前申し込み
*会場は先着60名
*オンライン配信あり



オープニング・フォーラム

「発酵する思考、表出することば」

クリエイティブ・ライティングはひとつの魔法です。ことばの力で、それまでなかった世界、現実にはない世界を読者の脳内に出現させるのですから。作家たちは、さまざまな体験や知識や考察を自身の内側にため込み、ひらめきとともに作品を作り出していきます。その過程では、おそらく作家自身も予想しえない思考の深まりと、ことばの炸裂がおきます。まるで自然界に菌が作用し、放置しておいた穀物から美味しいお酒ができるかのように。生成系AIの吐き出すことばと、作家のそれは、似て非なるものなのでしょう。文学者の内側で起きる思考の発酵、ことばの熟成、世界の創出について、語り合います。

クロージング・イベント〈朗読会〉

2023年10月21日(土)
17:00-19:00 (16:30 開場)

@真謡会館
[京都市北区小山北上総町 11-2]

丸善ブックフェア

京都文学レジデンシーによる海外・世界文学の選書フェアを開催。

9月中旬-10月末まで
@丸善京都本店

恵文社ブックフェア

「のんべえ大学詩歌学部」

詩・短歌・俳句のブックフェアを開催。

9月中旬-10月末まで
@恵文社一乗寺店

サヴァ・ブッククラブ

×

京都文学レジデンシー

CAVABOOKSの店主おすすめの海外文学が毎月1冊お手元に届く選書サービス「サヴァ・ブッククラブ」。今回は、第二回京都文学レジデンシーの開催を記念して、京都文学レジデンシー実行委員の下記6名がおすすめる海外文学をお届けします。毎月1冊×6ヶ月(合計6冊)+文芸誌『TRIVIUM』(発行:京都文学レジデンシー)があなたのお手元に。収益金の一部が京都文学レジデンシーの活動資金に充てられます。未知との本の出会いをどうぞお楽しみください。

〈選者〉

吉田恭子(代表:作家・翻訳家・立命館大学)
澤西祐典(作家・龍谷大学)
藤井光(翻訳家・東京大学)
河田学(文学理論・創作教育研究・京都芸術大学)
江南亜美子(書評家・京都芸術大学)
森慎一郎(アメリカ文学者・京都大学)

★申し込み・詳細は
CAVABOOKSのオンラインショップにて。

*お申し込み期間は
2023年9月30日
(土)まで。

*第1回目(1冊目)
の発送は2023年
10月中旬。以降、
毎月上旬~中旬の
発送予定。

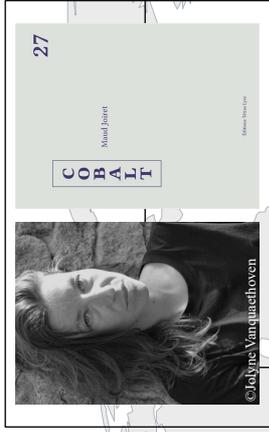
SNSも随時更新中

Twitter @kyoto_writers [JP]
@kwr_eng [EN]
Instagram @kyotowritersresidency
Note @kyoto_wr

個人様・企業様からの
寄付がレジデンシー
の大切な資金源です。
寄付ページはこちら>>>



2023年京都文学レジデンス参加作家たち



Maud Joiret

モード・ジョアフレ

詩人・作家・パフォーマー。ベルギー、ブリュッセル出身。2019年のデビュー詩集 *Cobalt* は、Wallonia-Brussels Federation の新人賞を受賞、後に映像化。第二作目の *JERK* では文字と音楽、踊りを掛け合わせたパフォーマンスを披露。ベルギーをはじめフランス、メキシコで雑誌やアンソロジーの出版も行なう。



Luz Vítolo

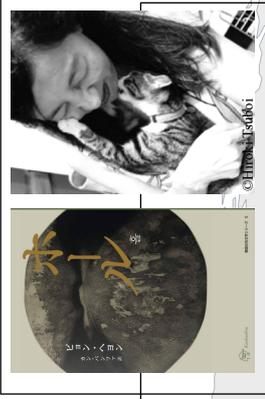
ルス・ヴィイトロ

作家・脚本家・教師。アルゼンチン、ブエノスアイレス出身。2020年のデビュー短編集 *La lógica del daño* の原稿がボスヘル記念短編集賞最終候補作に選出され、エル・リプロ財団賞未刊短編集部門を受賞。2022年には第二作目となる *Fruita de verano* を出版。他の作家たちの創作指導も行なう。

강망화

カン・バンブア

日韓文芸翻訳家。岡山県生まれ、在日韓国人3世。ソウル在住。大学卒業後に渡韓。日訳にペク・スリン『惨憺たる光』、ピョン・ヘヨン『ホール』、チョ・ウリ『私の彼女と女友達』など多数。韓訳に古田足日『ロボット・カミイ』をはじめとす児童書のほか、柳美里『JR上野駅公園口』、三島由紀夫『文章読本』『小説読本』（共訳）がある。



佐藤文香

さとう あやか

俳句作家。兵庫県生まれ。2006年に芝不器男俳句新人賞 対馬康子奨励賞を受賞。2008年刊行の第一句集『海藻標本』では宗左近俳句大賞を受賞。編著書『天の川銀河発電所』、小説集『そんなことよりキスだった』、句集『菊は雪』など多数。



Josephine Rowe

ジョセファ・ロウ

作家。オーストラリア出身。2017年と2020年の2度『シドニー・モーニングヘラルド』最優秀新人作家に選出。2017年のデビュー小説 *A Loving, Faithful Animal* は Miles Franklin Literary Award の最終候補作として『ニューヨーク・タイムズ』お勧めの一冊に選ばれる。他の著作も含めドイッ語、イタリ語、フランス語に翻訳されている。

note のアカウント (@kyoto_wr) より
参加作家たちのサンプルワークを原文・日本語訳で随時公開